2020年12月某日

差枚	+3040枚	RANK	S

実戦機種

クランキーセレブレーション、交響詩篇エウレカセブン3 HI-EVOLUTION ZERO、バーサス

実戦レポート

正真正銘2020年最後の実戦となるこの日。勝っても負けても気持ちよく終えて、新しい年へ繋がる内容にしたいものだ…などという殊勝な思いは毛ほども無く、ただいつも通りに打ち、楽しみ、最後まで足掻いて今日という1日を生きるのみだ！　…などという強い決意もさほど無く、まぁここへ来て2連続でS級取ってるし？　あと数日で厄年が終わるし？　いよいよオレの時代が来たかな～？　ぐらいの軽いノリで引いた入場抽選は「24番」。気合いがそのままクジを引く右手に乗り移ったかのような、参加者のなかではだいぶ後方に位置する何とも気の抜けた番号だが、ともかくそんな感じで2020年を締めくくる戦いはスタートしたのだった。

だが実は今回のお店、この実戦の直前に店内の大幅な機種配置変更が行われており、今までもっとも壁際の列に置かれていたノーマルタイプコーナーと、中央2列のうち片方を占めていたバラエティコーナーが、まるっと入れ替わった形となっている。ここに何かの意味を感じずには居られないのが、スロッターとしての性であろう！　ということで、ノーマルタイプコーナーの中でももっとも目立つカド台近辺に据えられた「クランキーセレブレーション」からスタートだ！　すると、2台打ってどちらも目立った挙動はなく、パッとしない展開でヤメ…。ううむ、さすがにクラセレの設定5・6を打てるかも？というのは高望みが過ぎたか。
で、2台目には過去2回連続でのS級ゲットの立役者となってくれた「エウレカ3」を選ぶも、さすがに前2回と比べて根拠が無さすぎる台選びだなと我に返り、早々に退散。店内の稼働がまださほど高くない状況で、ある程度は自力でローラー気味に高設定を探すしかないと考えるならば、やはり妥当なのはノーマルタイプかな…。

というわけで、壁際にあったころは目立つ位置に置かれており、ノーマルタイプの中でも比較的台数シェアが多めな「バーサス」からローラーしていくことにしよう。ハナビと迷ったけど、基本的にゲーム性が好きなのはこっちなのでね。3台あるうちの真ん中をまずは打ち、小役の感触があまり良くなかったのでそそくさと移動した2台目。これがすぐボーナスをポンポンと連発で引いて、その間の小役確率も悪くない。しかしハナビ・バーサスの設定推測の難しさは重々承知なので、「とりあえずこの出玉がノマれるまで打って考えるか」という程度の心持ちで続行すると、その後も下皿のメダルが尽きる前に延々とボーナスを吐き出し続けるバーサスさん。こんなに安定した展開はいつ以来だ？　小役もずっと良いし、これはもしかして本当に…？
その期待を裏付ける、BIG中の中段V揃いが炸裂したのは、頭上のドル箱がもう2つ満杯になった夕方過ぎのこと。終わってみればギリギリの＋3000枚達成で…3連続S級フィニッシュ!!